

成績評価の指標

- 筆記試験を行う教科科目は、
筆記試験による評価7割（100点満点の試験結果に7割を乗じる）、平常点3割（出席状況、学習への取り組み状況など）を100点満点で算出する。60点に満たない者は追指導のうえ、追試験を実施する。
- 実技試験は、
各課題科目とも姿勢、器具の使い方、仕上がり、衛生、時間内提出などの項目について100点法で行い、60点に満たない者は追指導のうえ、追試験を実施する。
- 定期試験を実施しない教科科目は、
レポート提出を義務付ける。提出状況、構成、表現、内容等を基準に、100点満点で採点し、60点以上を合格とする。欠席者も課題について調べてレポートを提出する。各期（前期、後期）ごとに判定し、60点に満たない者は再提出とする。
- 学年成績（評定）は、前期成績（100点満点）と後期成績（100点満点）の平均点をもって算出する。平均点の算出方法は、小数点以下を四捨五入するものとする。全教科の合計得点により順位を決定する。
- 60点以上の教科科目は単位認定し、60点に満たない者は追指導のうえ、追試験を実施する。
- 学習評価は、以下の基準で評価する。
A+ : 100 ~ 90、 A : 89 ~ 80、 B : 79 ~ 70、
C : 69 ~ 60、 D : 59以下